

登山の実施結果について(5月25日～7月1日実施分)

【山岳部】

R4.7.7 学校安全課

番号	学校名	行事名	実施山域	実施日(始期)	日数	参加生徒数	引率者	ルート及び通過時間	登山アドバイザー帯同			天候(上) 種雷(下段)	特に配慮した点の特記事項	ヒヤリハット事例			
									人数	資格	要件			具体的内容	背景要因	改善策	委員からの助言
1	大田原高等学校	令和4年度春山山行	釈迦ヶ岳(矢板市)	令和4年5月28日	1日(日帰り)	14名(3年生2名2年生4名)	2名 高梨和幸 片柳剛史 鈴木長生	学校(6:10)・・・エーデルワイススキー場(7:30)・・・弁天池(8:50)・・・鶏頂山(9:30)・・・塩原コース分岐(10:20)・・・釈迦ヶ岳・昼食(10:50～11:50)・・・塩原コース分岐(12:20)・・・ゴンドラトップ(13:50)・・・ハンターマウンテン(14:30)・・・学校(16:00)	1名	なし	第6号	晴れ 0cm	計画では明神岳を通過する予定だったが、計画の時間よりやや遅れていたことや1年生との合流を控えていたため、明神岳付近の木道からゴンドラトップにルートを変え、下山を短縮した。 ヒヤリハット事例は、生徒個人ごとにTeamsを利用して山行(実習)の度に入力し、共有している。4/23日の県民の森のオリエンテーリング実習時にヘビと遭遇したということと踏まえ、ヘビについて事前に学習し、今回のヘビ遭遇に慌てず対応することができた。	①ぬかみで滑った。 ②木の根で固まった土の足場が崩れた。 ③急な斜面を下るときに止まりにくかった ④鹿やヘビがいた。ヘビはおそらくアオダイショウ。 ⑤単眼鏡の使い方を忘れて、先輩に確認して思い出した。 ⑥無線機を二回落とした。	①～③の主な要因は前日の雨によるところが大い。 ④～⑥はスキー場で実習をしていた1年生隊によるものである。	①～③は安全を意識した登山の経験と日々の練習により培われる。今後も意識をもって臨む。 ④については、事前に画像をみながらヘビについての学習を行っていたことがあり、毒蛇かどうかの判断もでき、慌てず対応できた。 ⑤については、ポケットに入れ、かつクリップで挟むなど、落下に対する防止策を助言した。	【問題なし】
2	宇都宮白楊高等学校	春山登山	朝日岳・茶臼岳(那須町)	令和4年5月28日	1日(日帰り)	5名	2名 宇戸平友博 安江彩子	JR宇都宮駅(6:58)・・・JR那須塩原駅(7:44)・・・那須ロープウェイ山麓駅(9:25)・・・峠の茶屋・登山口(9:40)・・・峠の茶屋跡避難小屋(10:25)・・・峠の茶屋・登山口(11:20)・・・那須ロープウェイ山麓駅(11:30)・・・殺生石(12:35)・・・JR那須塩原駅(14:30)・・・JR宇都宮駅(15:18)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第6号	晴れ 0cm	天気は晴れて気温も暑くなり過ぎていなかったが、風が強かった。特に、中の茶屋跡を通過した後から、向かい風が強かったためその都度進行をストップし、風が落ち着いたタイミングを見計らって峠の茶屋跡避難小屋まで進んだ。当初の予定では、峠の茶屋通過後は朝日岳、茶臼岳への登頂を予定していたが、登山アドバイザーと協議し、この先の登山道は狭まる箇所もあるため、安全を配慮して撤退の判断に至り、避難小屋で風の状況を見ながら来た登山道を折り返すようにした。生徒には強風時の対応の仕方や防寒対策を徹底するよう指示をした。無事、那須ロープウェイ山麓駅まで下山を完了し、生徒の体調等にも影響はなかった。当初の予定よりも早い時間での下山となったため、バスを途中下車し殺生石や温泉神社などの地域の探索を行い、帰路に着いた。	登山中の強風への対応	那須連山は地形的にも強い風が吹きやすい場所である。天気や気温等は週間予報等で1週間前から推測することができるが、風速に関しては情報が入るのが登山予定日の直前となってしまうことや現場に行ってみないとわからない点も多い。	今回の登山では、随時登山ガイドと相談しながら進行、撤退の判断に至った週間予報等では風の影響を受けやすいため風速0m以上は登山を中止するという明確な基準があっても良いと感じた。そのため、天気が良くても風の影響で予定を変更することも考慮しての柔軟な代替日の設定も検討すべきである。	風速15km/hを目安にアドバイザーと相談し判断すること。
3	栃木高等学校	刈込湖切込湖山王峰登山	刈込湖切込湖山王峰(日光市)	令和4年6月11日	1日(日帰り)	1名	2名 高野友博 加藤良菜	湯元(9:15)・・・小峠(9:45)・・・刈込湖(10:15)・・・洞沼(11:30)・・・山王峰(12:05)・・・光徳牧場(13:05)	1名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	第2号	曇りのち雨 0cm	木道では滑らないように、慎重に行動した。	入山道入り口から10分歩いた登山道の真ん中で、その日死んだと思われる鹿の死体を確認した。	もともと戦場ヶ原付近には鹿の生息が確認されている。	こまめにホイッスルを鳴らしたり、クマよけの鈴の携帯をする。	【問題なし】
4	大田原高等学校	初夏山行	茶臼岳(那須町)	令和4年6月18日	1日(日帰り)	7名(3年生2名1年生5名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	那須ファミリースキー場跡集合・慰霊(7:00)・・・スキー場跡出発(7:15)・・・休暇村分岐(7:30)・・・牛ヶ首(9:20)・・・峠の茶屋跡分岐(9:40)・・・茶臼岳・昼食(10:00～11:00)・・・峠の茶屋跡(11:30)・・・やまびこkokoshat(11:40)・・・峠の茶屋(12:10)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 0cm	初めての本格的な登山という生徒も多かったため、下見を踏まえてのルート上の注意点を共有しておいた。また、当日までの数日間の天気もぐずっていたため雨への備えを十分にしていた。ただし、当日は良い天気に恵まれた。	①注意喚起のリレーが十分にできていなかった。 ②木の枝等に頭をぶつけた。 ③ヘビに遭遇した。	①については、1年生が初の登山、または集団での登山が初めての生徒が多かった。②については登山の経験を積みながら意識を高めていくことが重要。 ③は、登山アドバイザーと協議し、山頂を少し降りてからの昼食をした。	【問題なし】	
5	大田原高等学校	初夏山行	茶臼岳(那須町)	令和4年6月19日	1日(日帰り)	7名(2年生5名1年生2名)	2名 高梨和幸 片柳剛史	那須ファミリースキー場跡集合・慰霊(7:05)・・・スキー場跡出発(7:25)・・・休暇村分岐(7:45)・・・牛ヶ首(9:30)・・・峠の茶屋跡分岐(9:55)・・・茶臼岳(10:20～10:25)・・・茶臼岳-峰の茶屋中間点で昼食(10:40～11:30)・・・峠の茶屋跡(11:40)・・・やまびこkokoshat(11:55)・・・峠の茶屋(12:15)	1名	なし	第6号	晴れ・曇り 0cm	初めての本格的な登山という生徒も多かったため、下見を踏まえてのルート上の注意点を共有しておいた。また、当日までの数日間の天気もぐずっていたため雨への備えを十分にしていた。ただし、当日は良い天気に恵まれた。	①注意喚起のリレーが十分にできていなかった。 ②木の枝等に頭をぶつけた。 ③茶臼岳山頂は晴れ間もあったが、雲行きが怪しく、携行した雷検知機がなっていたため、山頂での昼食を延期し、少し降りた場所(茶臼岳-峰の茶屋跡の中間点)で昼食をとった。	①については、1年生が初の登山、または集団での登山が初めての生徒が多かった。②については登山の経験を積みながら意識を高めていくことが重要。 ③は、登山アドバイザーと協議し、山頂を少し降りてからの昼食をした。	【問題なし】	
6	栃木女子高等学校	令和4年度岩場通過トレーニング登山②	大小山(足利市)	令和4年6月18日	1日(日帰り)	α5、β5(それぞれ3年生3名2年生2名)	α2名 高橋秀明 池間明徳 β2名 小椋康裕 森戸重臣	阿夫利神社(8:10)・・・妙義山東分岐(8:40)・・・西場富士(9:40)・・・阿夫利神社(10:30)・・・大小山南分岐(11:15)・・・妙義山頂(11:30)・・・妙義山東分岐(12:00)・・・阿夫利神社(12:30)	α1名 β1名	兩名とも日本スポーツ協会公認山岳コーチ1	兩名とも第2号第6号	曇り 0cm	岩場の急斜面を通過する際は、引率やアドバイザーが分散して、注意喚起や助言を行った。熱中症対策として、水分や塩分を多めに持たせ、小休止した際などに意識して摂取させた。前回の反省を活かし、電車を1本早くするなどして予定時刻前に集合した結果、余裕ある行動につながった。	なし	なし	なし	【問題なし】
7	宇都宮高等学校	令和4年度新入部員歓迎登山	茶ノ木平～細尾峠～薬師岳～地蔵岳(日光市・鹿沼市)	令和4年6月19日	1日(日帰り)	8名	4名 湯澤真一 富永孝昭 今井和彦 大和田哲也	学校(7:00)・・・茶ノ木平登山口(9:20)・・・茶ノ木平(10:00)・・・細尾峠(11:30)・・・薬師岳山頂(12:15)・・・三ツ目(13:40)・・・地蔵岳山頂(14:00)・・・古峯神社駐車場(15:45)・・・学校(17:25)	2名	日本スポーツ協会公認山岳コーチ1 日本スポーツ協会公認山岳コーチ2	第6号第2号	晴れ時々曇り 一時小雨 0cm	日中は、高温になることが予想されたので、休憩時間を行動1時間につき10～15分間取ることとし、水分補給についても具体的に150cc以上は飲み、持参した水分は下山までには飲みきりよう計画的補給を指示した。午後には天気の急変も予想されたので、雨具を取り出しやすいところにパッキングしておくよう出発前に指示した。	なし(登山後の講評で、帯同してもらった2名のアドバイザーからは、上級生および新入部員の登山行動について特に指摘することなく、普段の訓練やトレーニングの成果が現れており、危なげな点はなかったとの言葉をいただいた。)	なし	【問題なし】	